



浦川原小学校グランドデザイン

平成 30 年度

★教育目標★

ふかくかんがえる あいてをおもいやる すすんできたえる

★重点目標★

互いに認め合い 自己有用感を高める子ども

- ・よさや特徴を認められることによる自信
- ・人の役に立っている実感
- ・みんなと一緒に活動する充足感

浦小っ子 未来に向かって全力チャレンジ！

目指す子ども像

深く考え、相手に伝える子ども
(確かな学力)

相手のよさを見つけ、進んで関わる子ども
(豊かな心)

自分のめあてをもって、鍛える子ども
(健康・体力)

児童

- めあてをもって粘り強く課題に取り組みます。
- 互いに考えを出し合い、理解を深めます。
- 毎日家庭学習に取り組みます。
(低学年 20分 中学年 30分 高学年 50分)

- 自分から進んであいさつをします。
- 場に応じた正しい言葉遣いで話します。
- あいてのよさを認め「ふわふわ言葉」で接します。そして自分に生かします。
- 友達や地域の方に自分からかかわります。

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践します。
- 給食を好き嫌いなく、バランスよく食べます。
- 体育の授業や地域行事に積極参加し、体を動かします。
- メディアに接する時間を2時間以内にします。

(実態) 思いを文章にできるが言い表す力が不足。学力・体力・生活習慣の個人差が大きい。学年間でよい雰囲気の流れができてきている。

保護者地域

- 我が子の家庭学習を「見守る」「褒める」「認める」ことに努めます。
- 子どもたちが安心して学習に取り組める環境づくりに努めます。

- 子どもたちのお手本となるあいさつや言葉遣いに努めます。
- 家庭での親子の会話を大切にします。
- 町内の行事に進んで参加します。
- 地域全体で子どもたちを育てます。

- 健康な体づくりに向け、基本的な生活習慣の定着と適切なメディア接触に家族で努めます。
- 清潔習慣(手洗い・うがい・ハンカチ携帯・歯みがき)が身に付くよう声掛けを行います。
- 町内の行事に進んで参加します

(願い) のびのびとした学校生活。安心・安全な学校生活。地域への積極的なかかわり。4区のつながり。礼儀正しく優しい子に育ててほしい。

教職員

- 思いや考えが持てる、課題と場づくり
- 考えを共有し、学びを深める授業構成
- 学びを振り返り、確かなものにする授業構成
- 個に応じた指導の工夫(わかる授業づくり)
- 家庭学習の強調週間
- 確実な新学習指導要領の移行

- 学級、学年、縦割り班(なかよし班)、学校行事、クラブ、校外学習の場で子ども同士や地域との関わりを大切に、互いのよさに気付く場の設定と支援。
- 全校 SSE、挨拶運動、いいねカード
- 人権教育・同和教育、道徳教育の推進

- 子どもの体力を伸ばす授業づくり
- 具体的なめあてや活動を振り返る場の工夫
- 学校保健委員会やメディアコントロール週間を通じて健康三原則(食・睡眠・運動)やメディアとの関わり方の指導
- マナーよく、バランスよく食べる指導

連携

学校運営協議会

<学校>
保育園
中学校

<地域>

- ・浦川原の名人、達人(自然、歴史、工芸、芸能、文化、読み聞かせ)
- ・浦川原区青少年育成会・NPO 夢あふれるまち浦川原・学校保健委員会
- ・各地区協議会・保倉の里・月影の郷・いきいきセンター・みどりの少年団

<専門機関>

- ・学校訪問カウンセラー
- ・児童相談所
- ・すこやかにくらし支援室
- ・上越教育大学